

## 今号の主な内容

平成23年度の事業計画・目標が決定しました	1, 2
ゆふいんtopic	2, 3
【特集】ゆふいんこども音楽祭実行委員会・インタビュー！	
ゆふいん元気	4
西南学院大学応援指導部吹奏楽団ふれあいコンサート	
ゆふいんtopic	4
古談特別企画「あべ弘土さんと壁画をつくろう！」	
ゆふいん財団掲示板	4

[発行日] 2011年3月3日

[発行] 公益財団法人人材育成ゆふいん財団

[発行人] 溝口薫平

[編集責任者] 霜野圭一

[編集] 人材育成ゆふいん財団企画委員会

住所/湯布院町川上2863

TEL/85-4748 FAX/85-4759

E-mail: info@yufuin-zaidan.jp

H.P : http://www.yufuin-zaidan.jp

## 平成23年度の事業計画・目標が決定しました！

### 平成23年度目標

設立20周年に感謝し、これまでの成果と理念を大切にしながら、夢を語り、夢を叶える事業への挑戦、多世代交流に着目した事業推進に取り組んでいく

### 公益目的事業1：市民の0歳から100歳までの学びを奨励、援助する事業

#### (1) 国際交流事業

##### <事業目標>

「多世代交流を検討しながら、水原市・清明中学校との更なる交流を深め、充実を図っていく」

- ・清明中学校との継続的交流、学校訪問の実施。
- ・昨年度の実績をベースにした交流プログラムの充実。
- ・多世代交流研修、公募方法の検討。
- ・相互交流の検討。



第9回 ふれあい交流子ども使節団

#### (2) ふれあい学習事業

##### <事業目標>

「地域で様々な人がふれあいながら、交流して学ぶ機会をつくっていく」

- ・テーマ性を持った学習の機会づくり。
- ・『地域を知ろう』プログラムと『地域を紹介(ガイド)』プログラムを分けた検討。
- ・学校間、地域間交流と新規参加者の公募。
- ・テーマ毎のボランティア講師への協力依頼やボランティア団体との協働。
- ・交流プログラムの検討  
(一日完結型・農作業、大作業、昔の遊び、川遊び)。
- ・大人の学習の機会づくり。



子どもガイド養成講座(第2期目の講座)

#### (3) 人材育成活性化のための調査・研究事業

##### <事業目標>

「20周年企画の立案と新たな事業展開の実験的实施を行う」

- ・20周年を記念した企画の立案、20年にわたる財団事業に感謝、交流する機会づくり。

## 公益目的事業2 市民の実践活動の促進を援助する事業

### (1) 市民実践活動への人的支援事業

#### <事業目標>

「人的支援の意義と必要性を明確にしなが、その成果を求めていく」

- ・人的支援事業の広報活動の強化。
- ・市民活動団体との情報交換の強化。

### (2) 市民実践活動への情報・ネットワーク支援事業

#### <事業目標>

「情報の受発信の充実と  
人材バンクの構築を図っていく」

- ・財団ニュースの新コーナー掲載など、内容の充実。
- ・内部と外部との情報発信の仕分け、メーリングリストの検討。
- ・名人・達人の人材バンクの構築。
- ・ホームページの閲覧を増やすための手法の検討。



リニューアルをした  
財団ニュースと財団ホームページ

### (3) 市民実践活動への助成・顕彰事業

#### <事業目標>

「昨年度の検討をふまえた、助成・顕彰事業制度の更新・充実を図っていく」

- ・助成・顕彰事業の充実と広報活動の強化。
- ・平成22年度の助成・顕彰事業採択案件の適切な処理。

ホームページで情報を公開しています！ **カチッ!** **検索** ゆふいん財団

## ゆふいん TOPIC 【特集】 ゆふいん子ども音楽祭実行委員にインタビュー！ 「第10回ゆふいん子ども音楽祭」を終えて

昨年、記念すべき第10回目となるゆふいん子ども音楽祭が開催されました。会場も湯布院中学校となり、これまでの中で最多人数の演奏者を迎え、第10回目の記念としてふさわしい音楽祭となりました。そして「ブラスバンド

の演奏・パフォーマンスを生で子どもたちに見せてあげたい」という願いが実現しました。そうした節目の音楽祭の大成功を成し遂げた実行委員会のメンバーの方々（4人）にインタビューを行いました。（聞き手・事務局大澤）

⑤ 聞き手からの質問 ⑥ 実行委員会の方々のお話

### 第10回子ども音楽祭を振り返って

- ⑤ 第10回目となるゆふいん子ども音楽祭が盛況に終了しました。今回を振り返ってみてどんな感想ですか？
- ⑥ たくさんの演奏家とお客様、スタッフでギュッと集まり、楽しい時間を過ごせました。思わず何度も目頭が熱くなりました。過去最多の出演者数だったので不安も大きかったですが、会場全体の一体感がすばらしく、感動的でした。出演者の保護者もお客様で来てくださり、会場全体が賑わい、盛り上がった気がします。
- ⑥ 今回の会場は湯布院中学校体育館。いつもよりお客様との距離が近くなり、スタッフと観客が一体になれたような気がしました。
- ⑤ 大きな会場の現場でスタッフはどうでしたか？
- ⑥ 出演者が多い分、これまでよりも準備することが多かったような気がします。
- ⑥ 子どもスタッフも今回はやる事が多く、与えられた責任が大きかったように思います。だけど、乗り越える

ハードルが高かった分、子どもたちの成長を目にすることができて感激しました。自分たちの仕事、責任をやり通すことはとても大きいと思います。

- ⑥ 今回はかつて子どもスタッフだった子どもが、今度は演奏者として演奏していたことがうれしかった。
- ⑥ 会場が広がったのでみんなが一緒になり、活躍する子どもたちの姿も見ることができた。公民館だと各役割やパートで場所が分かれてしまうので、今回はみんな一緒だったことが良かった。
- ⑥ 何よりも良かったのがスタッフ紹介。会場のお客さんを取り囲んで、音楽祭を支えるすべてのスタッフを紹介できたことはとても良かったと感じます。



⑤ 来年の会場は、また公民館に戻るのでしょうか？

⑥ まだ分からないですが、今回の「一体感を持ってやる雰囲気」みたいなものは、公民館でも活かしてやっていきたい。今回は盛りだくさんで打ち上げ会ができなかった。大人スタッフも子どもスタッフも一緒になり、演奏家も交わる、そうしたとっても楽しい会です。

### これまでのこども音楽祭の思い出は？

⑤ 打ち上げ会はそんなに盛り上がるのでしょうか？

⑥ 打ち上げ会が一つのステージなんですよ。(場所はロビーなんですが・・・) 出演者とスタッフが同じステージに立っている気分になれます。そして音楽祭を振り返りながら語り、食べて盛り上がる。打ち上げが最高の楽しみでした。

⑥ 出演者交渉の時も打ち上げのことを伝えて交渉しています。大人と子どもが音楽祭を支えていて、最後に出演者と交流したい。そういった主旨というか、目指しているものに共感して出演して下さい方もいます。

⑥ 子どもにとっては打ち上げというだけで「大人になったような気分」になるのではないかと思います。おおたか静流さんを招いた時はみんなで楽しく踊りました。

⑥ 子どもの中には音楽にあまり興味がなくても、なんだかんだ引っ張り出されて手伝っている子どももいます。でも、この打ち上げはみんなで喜び合います。そういう意味で、こども音楽祭は音楽以外にもいろんな楽しさがあるのではないかと思います。



⑤ 子どもにとっても、たくさんの思い出があるんですね。

⑥ 毎回の準備作業も大変でした。第7回のクリスマスコンサートでは段ボールでサンタをつくったり、トナカイをつくったり。作業を共にした思い出があり、当時小さかった子どもたちも、現在はもう高校生になっています。毎回、子どもの姿を見えています。その度に子どもスタッフの目覚ましい成長を目にします。

⑥ 何ととっても第1回は思い出が深いですね。第1回から参加させてもらい、音楽祭のおかげで、いろいろな方々とのつながりを持たせたことが良い思い出です。

⑤ 出演者との思い出もたくさんありますか？

⑥ 出演者にはいつも無謀なリクエストをお願いしていましたが、それに対していつも歩み寄っていただき、応えて下さいました。本当に感謝しています。

⑥ 毎回、多彩な演奏家の方々がこども音楽祭オリジナルのプログラムで、個性的な演奏をして下さいました。

その時だけしか聴けない、生の演奏が聴けることがこども音楽祭の良いところだと思います。

### 今後、やっていきたいことは？

⑤ こども音楽祭に限らず、今後やっていきたいことは？

⑥ 音楽を媒体として楽しい時間をたくさんの人と過ごしたい。就学前の子どもたちを対象に行っている教室「ドレミっ子」などの活動も気軽に親子に来てもらえる楽しい場所であるように、自分も楽しみたい。



⑥ 自分が楽しければ一番ベスト。そういった中で、子どもたちの笑顔がみたい。「育自サークルひよこ」の仲間とはこれからも一緒に楽しんでいきたい。

⑥ 私も子どもたちの笑顔や成長を見ていきたいと思います。子ども音楽祭を通して見ていると、子どもスタッフが年々しっかりと役割を果たして成長しているので、今度は自分がおいていかれないように、しっかりついていきたいと思います。

⑥ 自分としてもやりたい事はたくさんあります。今やっている事はストーリーテリング・・・語り、ヘルスアップ・・・体を動かすことなど。それから育児と一緒にやって来たママ友達との交流はこれからも大切にしていきたいです。こども音楽祭のスタッフとしても、今のパワーを持続させることが重要なことかな・・・?と感じます。歳をとっても続けていけるように頑張りたいです。

### 新年度を迎える子どもたちへメッセージを！

⑤ 最後に、新年度を迎える子どもたちにメッセージを！

⑥ 下手は下手なりに毎日やれば上手になる(80歳になる父(今は息子の将棋の先生)の言葉より)

⑥ 何事にも、興味を持った事にチャレンジしてみよう！(私にも言えることです！)

⑥ 親しい人とお別れもある春ですが、新しい出会いもある楽しい季節です。「出会い」を大切にして下さい。

⑥ 新学年、みんなの中の自分を感じてチャンスを拒まず、たくさんのことを吸収して下さい。

⑤ 最後の「子どもたちのチャンス」という言葉が印象的でした。そういえば、こども音楽祭は子どもが前面に出る場面が多いですね。「出る機会」を経験し、それが自信につながり、子どもたちの成長につながっている、という話が何度も出てきました。「チャンス」を提供しているこども音楽祭の今後にも期待していきたいと思います。貴重なお話をありがとうございました。

## ゆふいん元気!

# 西南学院大学 応援指導部吹奏楽団 ふれあいコンサート

### ふれあいコンサートプログラム♪

1. マーチ「晴天の風」
2. 楽器紹介
3. ルパン三世のテーマ
4. 会いたかった (AKB48)
5. 未来予想図 II
6. 津軽海峡冬景色
7. パラダイス銀河
8. 湯平小唄



カラーガードのパフォーマンス



アンコールで津軽海峡冬景色を熱唱

2月16日(水)に西南学院大学応援指導部吹奏楽団による演奏会「ふれあいコンサート」が湯平・ふれあいホールで行われました。この西南学院大学応援指導部吹奏楽団は、毎年冬期に湯平温泉で合宿をしています。湯平とのお付き合い・交流はもう50年以上も続いているそうです。

今年もたくさんの曲の演奏があり、最近のヒットソングから、いろいろな世代に親しみのある曲まで多彩な演奏がありました。最後には「湯平小唄」の演奏があり、会場が盛り上がりました。演歌を吹奏楽で聞く機会はあまりないのでは…。清々しい大学生の皆さんのダンスと歌、パフォーマンスも交わり、客席をととても楽しませてくれました。

## ゆふいん TOPIC

# 古談 (いにしえ・トーク) 特別企画 「あべ弘士さんと壁画をつくろう！」

古談2010の受賞作・湯布院の「為朝伝説」の壁画を、古談の審査員でもある絵本作家・あべ弘士さんと一緒に制作します！  
由布の子どもたち、どしどし参加してください！

2011年  
3月25日[金] 佛山寺にて  
14:00～集合 14:30～開始  
参加費 無料  
参加対象：由布市在住の子ども(定員30名、5歳以上)  
※当日、30名を超えた場合は、希望のコースに制限を設けます。募集に締め切りがあります。お申し込みは、お申し込み用紙に記入の上、お申し込み先までお申し込みください。

3月25日(金)に古談(いにしえ・トーク)特別企画「あべ弘士さんと壁画をつくろう！」が開催されます。古談(いにしえ・トーク)とは、地域で語り継がれてきた民話や伝説、先人の伝記や体験談を語り継ぐ物語です。その古談：いにしえ・トークコンテスト2010年の受賞作品に、湯布院の「為朝伝説」が選ばれ、6月に発表会が湯布院で開催される予定です。

その発表会に先立ち、特別企画として開催されるイベントが「あべ弘士さんと壁画をつくろう！」です。代表作「旭山動物園日誌」「あらしのよるに」の絵本作家のあべ弘士さんにご指導を頂き、今回受賞した「為朝伝説」の壁画を製作します。参加対象は由布市在住の子どもたちです(定員30名、5歳以上)。参加希望の方は所定の申し込み用紙でゆふいん財団までお申し込み下さい。

カチッ! 🔍 検索 ゆふいん財団 詳しくはホームページでご覧下さい!

## INFORMATION

### 人材育成ゆふいん財団 掲示板

(1) 一般寄附金としてご寄付をいただきました。

・木戸加代子さま(湯の坪)より(香典返しとして)

50,000円

温かいご厚意ありがとうございました。公益目的事業1、2の推進、充実に有意義に活用させていただきます。

#### 公益目的事業1

市民の0歳から100歳までの学びを奨励、援助する事業

#### 公益目的事業2

市民の実践活動の促進を援助する事業

(2) 平成23年度市民実践活動への助成・顕彰事業の応募は、6月より開始します。

平成22年度事業運営を再検討するため、当初4月に予定していた市民実践活動への助成・顕彰事業の応募受付を6月に延期します。事業運営体制が整うまでしばらくお待ち下さい。

## 編集後記

3月の財団ニュースは桜色がベースです。その背景としてあるのは「もうすぐ春ですね〜♪」です。今年の冬は例年に比べ寒く、雪の日が多かったような気がします。さぞや待ち遠しく、春を待っておられた方も多いでしょう。

春は別れの卒業シーズンでもあり、新たな出会いがある入学シーズンでもあります。受験シーズンを終えて、新たな旅立ちを迎える子どもたちも多いのではないのでしょうか。

ゆふいん財団も来年度に向けて、事業計画を策定しました。重点テーマは何とんでもなく設立20周年ではないのでしょうか。新しい季節の春がもうすぐ目の前です。(事務局・大澤直彦)

みらいしんきんは人材育成ゆふいん財団の市民の実践活動への情報・ネットワーク事業を応援します

MIRAI 未来信用金庫

URL <http://www.oitamirai.co.jp/>